

事業評価票（監査結果に基づき見直しを図る事業）

3	中堅所得者向け住まいの拡充の必要性 (都市整備局住宅政策推進部)	監査実施年度	平成 24 年度
		監査種別	包括外部監査
指摘・意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> 今後、増加が見込まれる中堅所得者層（厚生年金受給者等）で要介護度が低い高齢者に対応した住まいの拡充が必要であると考えます。 この対応策としては、バリアフリー構造等を有し、安否確認サービス、緊急時対応サービスなどが提供されるケア付きすまいや高齢の単身者が共同で住む住宅等の「新たなすまい」の更なる拡充が考えられる。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から、サービス付き高齢者向け住宅について、地域包括ケアの考え方を踏まえ、地域住民へ貢献できるよう地域密着型サービス事業所との連携等により供給拡大を図っている。 また、空き家活用策について、高齢者世帯など住宅確保要配慮者向けに、区市町村が行う空き家改修補助等に対し支援を始めた。 平成28年度もこれらの事業の実施に向けた見積もりを行う。 	28年度見積額	2,705,672 千円
		27年度予算額	2,093,326 千円
		妥当	
		見直し	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> サービス付き高齢者向け住宅の供給拡大や空き家利活用に向けた改修補助など、高齢者に対する居住環境の維持向上に向けた本事業の必要性は認められる。 経費については、支援内容を、より充実・強化するための必要額を計上する。 	その他	
		28年度予算額	2,765,306 千円
		妥当	
		見直し	

監査事務局 ・ 行革推進部	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の単身世帯や夫婦のみの世帯は、今後も増加する見込みの中、サービス付き高齢者向け住宅の供給を促進する事業や、空き家利活用の促進を目的とした、区市町村が実施する取組を支援する事業は、平成27年2月に公表した改善措置済の内容と整合している。 	<input checked="" type="radio"/> 整合 <input type="radio"/> 不整合 <input type="radio"/> その他
---------------------	--	---

4	外来生物対策事業（キョン） (環境局自然環境部)	監査実施年度	平成 23 年度
		監査種別	包括外部監査
指摘・意見等の概要	<ul style="list-style-type: none"> 都は特定外来生物について駆除などの対策を進めているが、キョンに関しては大島町内の防除対策を実施しているにもかかわらず、平成23年度の生息数は19年度より増加している。 都は、キョンの生態や生息実態を踏まえ、引続き、効果的・効率的な捕獲手法を検討し、外来生物事業の更なる実態に努められたい。 		
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲目標年間1,000頭として防除事業を実施してきたが、直近の調査結果において、生息数は、推定約11,000頭との調査結果がでて これを受けて、27年度に捕獲効率が高い張り網、銃器捕獲に重点を置いた追加防除を行うとともに、28年度予算要求では、キョンの生態に応じた囲い込み柵の設置や捕獲コーディネーターを措置しており、キョン根絶に向けた効果的、効率的な防除事業を推進していく。 	28年度見積額	280,334 千円
		27年度予算額	94,428 千円
		妥当	
		見直し	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> 大島町におけるキョンの調査結果等を踏まえ、捕獲効率の高い捕獲策に重点を置く等の実態を踏まえた防除事業の必要性は認められる。 経費については、生息数の伸びを踏まえた早期の対応が必要になることから、見積額のとおり計上する。 	その他	
		28年度予算額	280,334 千円
		妥当	
		見直し	

監査事務局 ・ 行革推進部	<ul style="list-style-type: none"> 増加の一途をたどるキョンを根絶するため、捕獲効率が高い防除策に重点を置いて、事業を推進することは、平成26年6月に公表した改善措置済の内容と整合している。 	<input checked="" type="radio"/> 整合 <input type="radio"/> 不整合 <input type="radio"/> その他
---------------------	---	---